

藻場を食害する海の厄介者有効活用推進業務委託に関する 質問と回答

仕様書 5 用語の定義について

質問①

アイゴやブダイの水揚げが少ないことも想定されます。
上記以外の魚種も、想定されていますでしょうか？

回答①

アイゴやブダイの他に、海藻・海草を食害するイスズミやクロダイなどの魚種に加え、ガンガゼなどのウニ類を想定しています。

仕様書 6 委託業務の内容

(1) 一次加工品等の開発を促進するための支援

①ワーキンググループの企画、運営について

質問②

毎月、現地で参加できる事業者を10名集めるのは非常に困難だと考えています。
オンラインの会議の活用は可能でしょうか？

回答②

ワーキンググループについては、参加事業者が率先して未利用魚を活用した一次加工品等の開発を行っていただくとともに、次年度以降も継続的に取り組まれるよう、仕組みづくりを行っていただきたいと考えています。

そのためには、参加事業者の皆さんが同量の熱量をもって、積極的に参加していただく必要があります。

議論をより活発なものとするためにも、事業者間の連携をより強固なものとするためにも、原則、対面で開催していただきたいと考えています。

ただし、参加事業者の都合等により、オンラインで参加することはやむを得ないと考えます。

(4) 開発した一次加工品等の活用先開拓支援について

質問③

「事業者を30社程度集めること」とされていますが、複数の店舗を有する事業者も1社というカウントになるのでしょうか？

回答③

ご指摘のとおりです。

(5) 学校や企業の社員食堂等における未利用魚の活用と磯焼けの状況を伝える食育や啓発の実施

質問④

専門知識を有する大学にお願いしようと考えていますが、県への報告とは別に、アンケート結果を活用して、大学で論文を作成することは可能でしょうか？

回答④

三重県が受託者とアンケート結果の活用方法等を協議のうえ、判断させていただきます。